

スキャナから資料を取り込み教材を作ろう

写真撮影時やスキャナ取り込み時のゴミなどを部分的にコピーし修正します。教科書や資料の読み込み時に入ってしまったゴミや影の部分を修正し見やすい教材を作成することができます。

●事前準備する資料

- スキャナで読み込む教科書または資料

加法混色

色の三原色(原色)は、赤(Red)、緑(Green)、青(Blue)です。これらを混ぜると、二次色(二次色)が生まれ、さらに混ぜると白色になります。このように、色の三原色を混ぜると、二次色、三次色、白色が生まれます。このように、色の三原色を混ぜると、二次色、三次色、白色が生まれます。

減法混色

色の三原色(原色)は、赤(Red)、緑(Green)、青(Blue)です。これらを混ぜると、二次色(二次色)が生まれ、さらに混ぜると黒色になります。このように、色の三原色を混ぜると、二次色、三次色、黒色が生まれます。このように、色の三原色を混ぜると、二次色、三次色、黒色が生まれます。

量子化

画像の量子化とは、画像の各ピクセルの色を、あらかじめ決められた色(通常256色)に近づけることです。これにより、画像の色が少なくなり、デジタル的な印象を与えます。量子化は、画像の解像度を下げたり、ファイルサイズを小さくしたりするために使われます。

標本化 (サンプリング)

標本化とは、元の画像の一部を抽出して、新しい画像を作成することです。これにより、画像の解像度が低くなり、ファイルサイズが小さくなります。標本化は、画像の解像度を下げたり、ファイルサイズを小さくしたりするために使われます。

加法混色

色の三原色(原色)は、赤(Red)、緑(Green)、青(Blue)です。これらを混ぜると、二次色(二次色)が生まれ、さらに混ぜると白色になります。このように、色の三原色を混ぜると、二次色、三次色、白色が生まれます。このように、色の三原色を混ぜると、二次色、三次色、白色が生まれます。

減法混色

色の三原色(原色)は、赤(Red)、緑(Green)、青(Blue)です。これらを混ぜると、二次色(二次色)が生まれ、さらに混ぜると黒色になります。このように、色の三原色を混ぜると、二次色、三次色、黒色が生まれます。このように、色の三原色を混ぜると、二次色、三次色、黒色が生まれます。

量子化

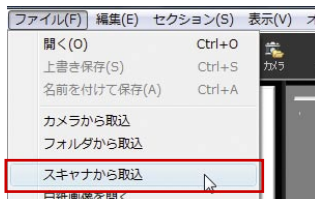
画像の量子化とは、画像の各ピクセルの色を、あらかじめ決められた色(通常256色)に近づけることです。これにより、画像の色が少なくなり、デジタル的な印象を与えます。量子化は、画像の解像度を下げたり、ファイルサイズを小さくしたりするために使われます。

標本化 (サンプリング)

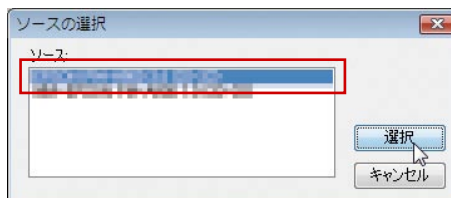
標本化とは、元の画像の一部を抽出して、新しい画像を作成することです。これにより、画像の解像度が低くなり、ファイルサイズが小さくなります。標本化は、画像の解像度を下げたり、ファイルサイズを小さくしたりするために使われます。

▶ 教材をスキャナで読み取ろう

1 メニューバーの[ファイル(F)]から[スキャナ]を選択します。

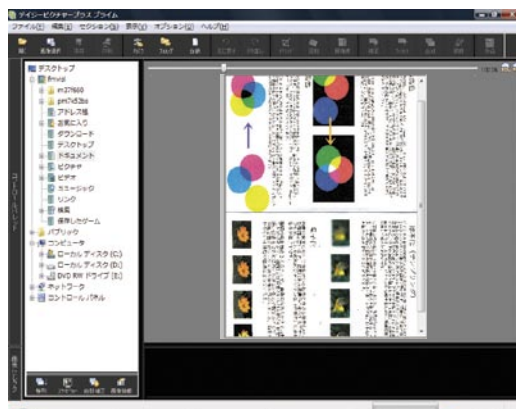


2 「ソースの選択」ウインドウが表示されます。設定されている機器付属のドライバをクリックで選択し、[選択]をクリックします。



3 機器付属のドライバのウインドウが表示されます。

ご利用機器の取扱説明書をご参考の上、画像の取り込みの操作を行ってください。



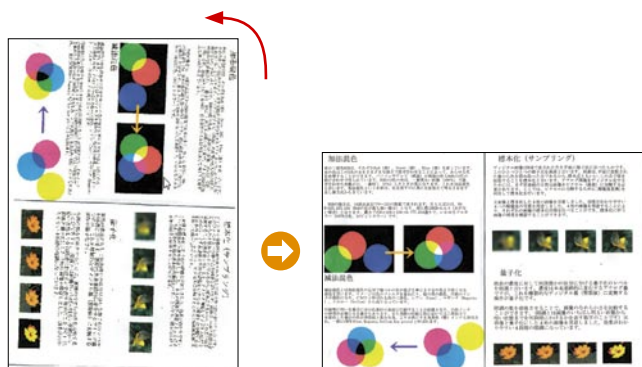
▶ 角度を整えよう

1 ツールバーの[回転]をクリックします。



2 画像の回転を行う[回転]セクションへ移動します。キャンバスの写真上にマウスのカーソルを合わせます。

3 画像をドラッグすると角度が変化します。調整したい角度へ調整を行います。



第3章

102 スキャナから資料を取り込み教材を作ろう

4 画像の角度が調節できましたら、[確定]をクリックします。



5 確認メッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

6 調節した角度に画像が固定されます。



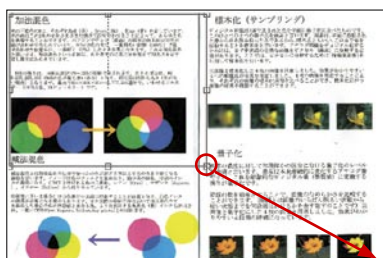
補足

角度を「0」に戻すには・・・

画面左手のコントロールパレットの「角度」項目を「0」度にするると、回転された画像が元の角度に変化します。

- 1 設定したい角度が決まっている場合には、この「角度」項目へその角度を入力して、直接数値で角度を指定することもできます。
- 2 数値は半角英数で入力してください。

▶ 余分な部分を切り取ろう



1 ツールバーの[トリミング]をクリックします。

2 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。

画像が型の中に収まり余白部分が領域選択枠に入らないようにドラッグをします。

ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。

3 [切り抜き]をクリックすると、切抜きを実行します。



領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアル23ページを参照ください。

▶ 取り込んだ画像のゴミを削除しよう



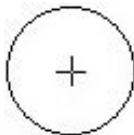
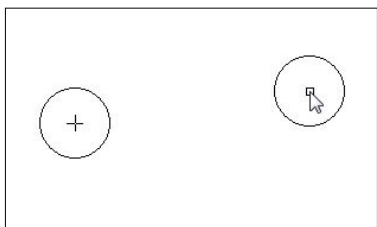
1 ツールバーの[補正]をクリックします。



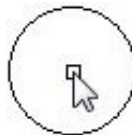
2 [セクション選択画面]が表示されます。



- 3 コピー修正セクションへ移動します。
キャンバス上にカーソルを合わせると、2つの円が表示されます。



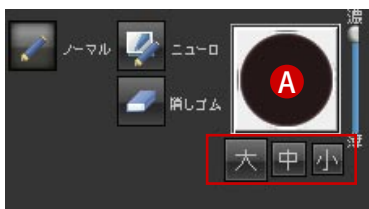
A コピー元
円の中心が「+」になって
いる円の範囲を読み取り
ます。



B コピー先
円の中心が四角になって
いる円の範囲へ、コピー元から読
み取った部分をペンでなぞるよ
うに写真をコピーします。

- 4 キーボードの [CTRL] キーを押したままにすると**A**の位置が固定されます。修正を行う方向に合わせて、**A**を固定した状態でドラッグを行い、**B**の位置を調整してください。

- 5 コピー修正を実行します。
[CTRL] キーから指を離して、消去したい部分をドラッグします。
Aの部分を**B**の部分へコピーします。



ペン先が太い場合は**A**の下の「大・中・小」のいずれかを選択して太さを調整します。



▶ **保存をしよう** → 保存方法は27ページを参照ください。